整備事業（産地競争力の強化）（長野県　平成29年度実施事業）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 計画時（平成28年）	1年後（平成29年）	2年後（平成30年）	3年後（令和元年）	目標値（令和元年）	達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 計画時（平成28年）	1年後（平成29年）	2年後（平成30年）	3年後（令和元年）	目標値（令和元年）	達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費	負担区分（円） 交付金	都道府県費	市町村費	その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
信濃町	ながの農業協同組合	水稲	色選の導入による下位等級率の改善	2.48% (8.1/326ﾄﾝ)	7.1% (107.5/1514.5ﾄﾝ)	1.02% (14.0/1368.1.ﾄﾝ)	5.76% (83.4/1447.9ﾄﾝ)	1.00% (4.5/450ﾄﾝ)	-221.62%	検査実績 1,447ｔ 下位等級数量 83ｔ	土地利用型作物(稲)	再編後施設利用率 100% 運営コストを32.1ポイント低減	326t/1283t 25.4% 22.543千円/t	374t/450t 83.1% 23.051千円/t	347t/450t 77.1% 24.491千円/t	390t/450t 86.7% 19.439千円/t	450t/450t 100% 7.233千円/t △32.1%	82.2% 20%	処理実績390t 7,581千円/390t	米乾燥調製施設乾燥機 5ｔ×6基 色彩選別機 4ｔ/h×1基 通風貯留設備 18.75ｔ×8基	207,252,000	95,950,000			111,302,000	H31.2.27	品質面は、カメムシ被害、胴割れ米の発生が多く、下位等級比率が高くなりました。対策としてカメムシの発生を抑制するため、防除薬剤の普及を推進し等級比率の向上に努める。 出荷量は、収量減に加え台風19号の影響により個人流通米が増えたため、ライスセンター出荷が390tに留まった。	梅雨明け後の高温や度重なる台風により作柄が悪化したことにより目標を下回った。 適期防除及び適期収穫の実施により収量の確保や等級比率の向上を指導していく。	

都道府県平均達成率	10%	総合所見	成果目標において大幅に目標を下回っている。 天候不順等による品質低下による部分が大きいが、そのような条件であっても品質向上が図られる様、関係機関が一体となり支援を行ってまいる。